

さみどり

二宮町立一色小学校 学校だより
令和元年度 第3号 (12/24)
発行責任者：校長 古正栄司
一色小学校：0463-71-1543

10月末に職場に復帰し、1か月が経ちました。大変ご心配をおかけいたしました。この間、たくさんの方々から温かい励ましのお言葉をいただきました。ありがとうございました。今回は11月からの主な学校の様子をお伝えします。

芸術鑑賞会 11/12 (火)

今回は、新進気鋭の若手音楽家グループである一般社団法人ユースクラシックの方々による、弦楽器を主体とした音楽会でした。子どもたちにも馴染みのある曲中心のプログラムだったので、皆、すっかり



聞き入っていました。楽器の紹介やアンコール演奏もあり、芸術の秋にふさわしい、心豊かな時間になりました。毎回、演者の許可が得られた場合には保護者の皆様にもご案内させていただいております。「本物」にふれる良い機会であり、親子で時間を共有できる機会にもなります。今回は人数は少なかったですが、ご都合がございましたら是非子どもたちと一緒に芸術鑑賞会をお楽しみください。



オールフレンズ集会 11/14 (木)



1年生から6年生までの子どもたち12～13名ほどで構成した縦割り班の活動です。集団活動を通じて、主に自主性や社会性などを育む場となっています。

体育館での開会式の後、秋晴れの校庭で持ってきたお弁当を班ごとに食べました。どんな形に座るか、何を話そうか、考えておいた通りに実行しようとするのですが、うまく進む場合もあれば進まない場合もあります。とっさの判断が必要になったり素早く仲間と相談したりすることもあります。従って、高学年の子どもたちにはリーダー性や問題解決力が求められます。こうして学校では総合的な人間力が育まれるのです。



写真には、校内ウォークラリーの様子も写っています。教室だけでなく、学校の敷地全部を使って伸び伸び生き生き活動していました。



閉会式で再び体育館に集まった子どもたちに「今日のオルフレ集会在楽しかった人、手を挙げて」と聞こうと思ったのですが、どの子も笑顔があふれていたのです。聞くのをやめてしまいました。それほど素敵な笑顔ばかりでした。



ドッジボール大会 低・中・高 計3回開催

運動委員会の主催で、今年も昼休みの時間を使ってドッジボール大会を行いました。攻守ともに得意な子、ボールをよけるのが得意な子、敵チームのボールに当たってしまい外野に出ると途端に闘争心に火が付く子、ドッジボールは苦手そうだけれどその場の雰囲気を楽しんでにこにこしている子など、様々でした。低・中学年はレクリエーション大会という感じですが、高学年になると「格闘技」のような、力と力のぶつかり合いのような迫力があります。結果はどうだったか、どんな参加の仕方だったかは、それぞれのお子さんに聞いてみてください。



ポッチャ交流会

11/27 (水)

二宮町内の団体「東大跡パラスポーツの会」の方々と特別支援学級(以下、支援級)の子どもたちとのポッチャを通じた交流会(今年度2回目)を、一色小学校の体育館で開催しました。今回は、山西小学校支援級の子どもたちや先生方、支援教育補助員さん、保護者も加わりましたので、支援ボランティアの方々と合わせると、総勢40名を超える大人数による交流会でした。

ホスト役となる本校の支援級の子どもたちは一人ひとりが何かしらの役割を分担し、準備と練習を重ねて当日を迎えました。その甲斐あって、開会の言葉でほめられ、ルールの説明でほめられ、ポッチャのゲーム中も「上手くできたね」とほめられ、・・気分上々の半日だったと思います。同時に、他校の友達と交流したり地域の方々に存在を知っていただいたりすることは、支援級の子どもたちにとってとても有意義なことです。この交流の輪がさらに広がることを期待しています。

3年生 農業体験

12/4 (水)

二宮町園芸協会と二宮町産業振興課の方々の協力で、3年生がシイタケ栽培の見学、ミカン狩り体験、玉ねぎの苗植え体験をしました。場所は梅の木



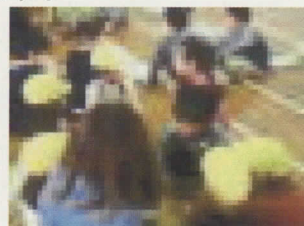
幼稚園のすぐ隣、一色地区の農家の畑です。今回苗を植えた玉ねぎは、来年6月に収穫をさせてもらえます。本当はその間の追肥や草むしりなど大変な作業があるので、その経験もすると収穫の喜びも倍増するのですが、基本的に畑の持ち主にお任せしてしまっています。畑のそばを通った時に作業をしている農家の方の姿に気づいた子が「一色小の3年生です。草むしり、手伝います。」なんて声をかけたら、きっと喜んでいただけたと思います。

1年生 幼保小交流会

12/4 (水)



毎年恒例の町内幼稚園・保育園の園児たちの「体験入学」的な行事です。夏から準備・調整をしますのでなかなか大変なイベントですが、いつもは可愛がられる事の多い1年生にとって、この日ばかりは一足先に小学生になった先輩として自己肯定感を味わえる貴重な時間です。幼保小の担当の先生方は、準備



が大変などと考えずに、この日のために連絡を取り合いながら入念に準備を進めてきました。当の1年生の子どもたちも一生懸命準備・練習を重ねていました。当日は、体育館でゲームをし、お互いに笑顔になったところで、グループに分かれてホスト役の小学生が学校案内や小学校生活の説明などしました。園児からの質問にも一生懸命答えていました。小学校と中学校、幼稚園・保育園と小学校などの異校種間交流は程よい緊張感と大きな満足感があり、日頃の授業だけでは培えない子どもたちの心の成長に結びついています。

学校運営協議会委員の方々が子どもたちと一緒に給食を試食

11/26 (火)



本校がコミュニティスクールに指定されて2年目。学習以外の場面でも登下校時の見守り活動、友情の山・友情の池などの環境整備などで成果を実感しています。この試食会は、学校運営協議会委員の方々に授業では見られない子どもたちの姿を見ていただくことと、近年クローズアップされている食育に直結する給食の現状を知っていただくこと、子どもたちに委員の方々の顔を知ってもらうことが主な目的でした。委員の皆さんは笑顔で会食する一方、かつて自分達が食べていた給食との違いに驚いていました。これからも様々な形で、委員の方々と子どもたちとの交流の機会を持ち、子どもたちへの思いを一層深めていただけたらと願っています。